



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2019
令和元年
10-20
No.566

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

景況調査レポート



長野市 七二会

海を渡る蝶(アサギマダラ)

黒と栗色に縁どられた翅脈の間が水色(浅葱色)に透きとおり、ふわふわと舞うこの蝶は、翅を開くと10cm程の大型蝶。今秋も北信のローカル紙面で数多く取り上げられました。

秋の風物詩にもなりつつあるフジバカマの花とアサギマダラ。

たまには秋桜の花へと寄り道です。

おとなしや 蝶も浅葱の 出立は
一茶 (八番日記)

- 長野しんきん
景況調査レポート 2
- 企業アンケート
IT活用とキャッシュレス決済 ① ... 6
- 生活者アンケート
キャッシュレス決済 ① 9
- 北信濃 江戸時代の風景 (62) 10
鐘鏑川沿い

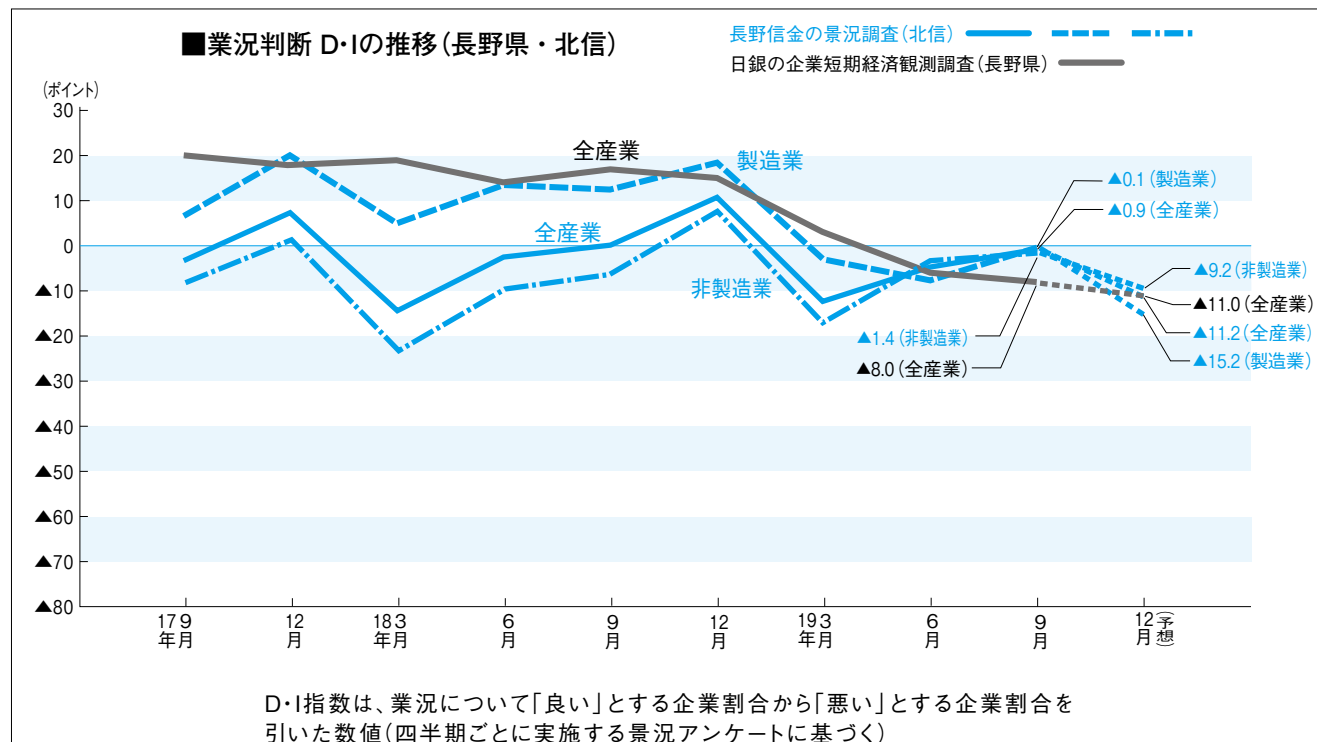
「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)



長野信用金庫

景況調査レポート 概況 (第177回景況アンケート調査)

◆長野県北信地区◆2019年7～9月期…景気の現状 ◇2019年10～12月期…景気の見通し



全産業▲5 → ▲1 製造業・非製造ともに改善

2019年7～9月期の業況判断D・Iは、全産業で4ポイント改善して▲1となりました。製造業は8ポイント改善の±0、非製造業は2ポイント改善の▲1です。

2019年10～12月期の全産業の業況判断D・I(予想)は、10ポイント悪化の▲11となりました。

◆北信地区の7月～9月期の業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
全産業	▲5	▲1 (4ポイント改善)	▲11
製造業	▲8	±0 (8ポイント改善)	▲15
非製造業	▲3	▲1 (2ポイント改善)	▲9

非製造業▲3 → ▲1 卸小売業は悪化

非製造業の業種別業況判断D・Iは、建設業が+12(前期比+10ポイント)、卸小売業が▲23(▲12ポイント)、サービス業が+2(同+4ポイント)となり、建設業、サービス業が改善しています。

◆非製造業の業種別業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
非製造業	▲3	▲1 (2ポイント改善)	▲9
建設業	+2	+12 (10ポイント改善)	▲2
卸小売業	▲11	▲23 (12ポイント悪化)	▲26
サービス業	▲2	+2 (4ポイント改善)	▲3

◆売上高D・Iと収益判断D・I

	売上高D・I(「増加」-「減少」)		収益判断D・I(「増益」-「減益」)	
	前期	今期	前期	今期
全産業	▲5	+2 (改善)	▲8	+3 (改善)
製造業	▲3	+6 (改善)	▲6	+2 (改善)
非製造業	▲6	+1 (改善)	▲9	+4 (改善)

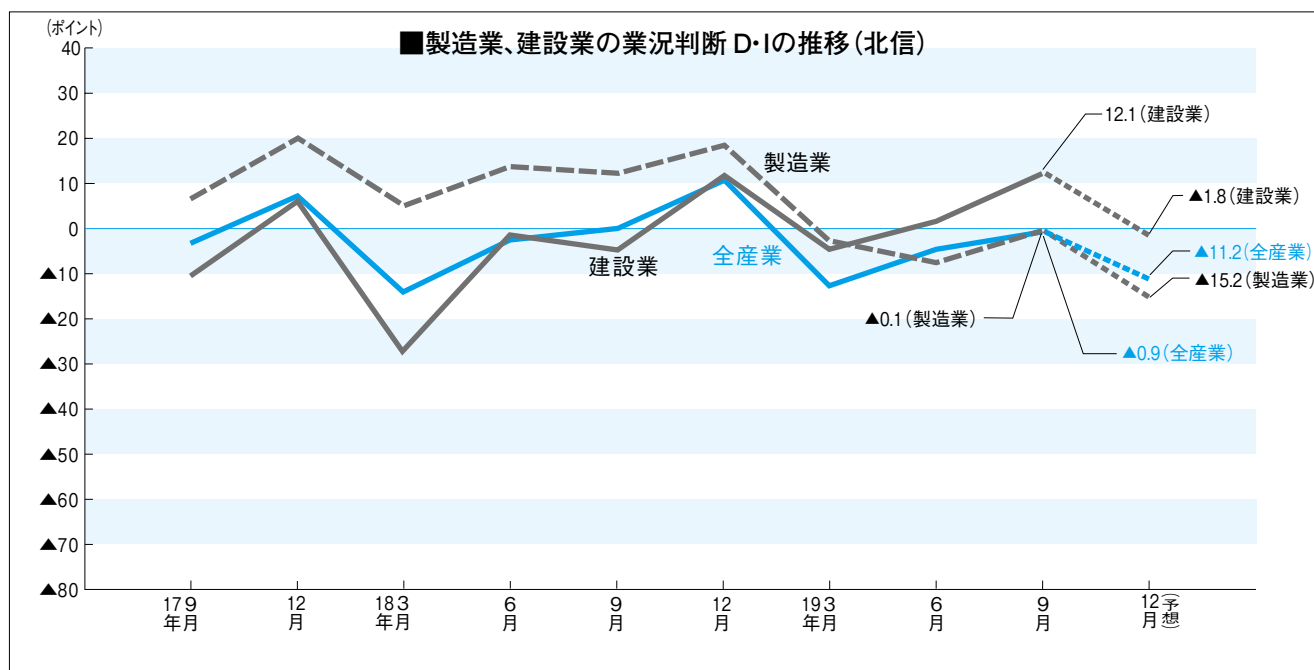
●北信地区の業況判断D・Iの推移

	2018年12月	2019年3月	6月	9月	12月(予想)
全産業	+10.8	▲12.8	▲4.8	▲0.9	▲11.2
製造業	+18.5	▲3.0	▲7.8	▲0.1	▲15.2
非製造業	+7.6	▲17.2	▲3.3	▲1.4	▲9.2

[調査要領]

●調査実施……2019年9月
●調査対象企業(回収)
製造業………66社
建設業………59社
卸小売業………44社
サービス業………41社

合計………210社
●回収率………79.6%
●従業員規模
30人未満………77.1%
●分析………D・I判断指数
を中心に分析



製造業の景況

8割改善して±0に、来期は悪化の予想

製造業の7～9月期の業況判断D・Iは±0で、前期(▲8)に比べ8割改善となりました。10～12月期は今期より15割悪化の▲15の予想です。

	(前期)	4～6月期	▲ 8
◆業況判断D・I	(今期)	7～9月期	± 0
	(来期)	10～12月期	▲15(予想)

◇業種別業況判断D・I

改 善	金属加工・電気機械・精密機械
悪 化	食料品・一般機械・自動車部品

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…+2 (8割改善)

「増益」割合	前期 20% → 19% (1割減少)
「減益」割合	前期 27% → 17% (10割減少)

◆現在の採算状況…横ばい

「利益確保」	前期 49% → 49% (横ばい)
「収支トントン」	前期 42% → 42% (横ばい)
「赤字」	前期 9% → 9% (横ばい)

企業からのコメント

- ★10月以降の消費税率の引き上げと軽減税率制度の導入で複雑になり、消費者・事業者ともども混乱が予想される。(中華麺)
- ★消費税増税と軽減税率の導入で、事務面の煩雑化が心配。食料品は8%のままだ、包装材は10%になる点、価格上昇につながるかと思う。(農産物加工品)
- ☆☆業界規模は依然縮小傾向なれど、同業他社の廃業などもあり、受注自体は横ばいか。(樹脂ケース)

建設業の景況

10割改善して+12に、来期は悪化の予想

建設業の7～9月期の業況判断D・Iは+12で、前回(+2)に比べ10割改善しています。10～12月期は今期より14割悪化の▲2の予想です。

	(前期)	4～6月期	+ 2
◆業況判断D・I	(今期)	7～9月期	+12
	(来期)	10～12月期	▲ 2(予想)

◇業種別	総合建設	前期 +11 → +40 (29割改善)
	土木工事	前期 ▲15 → ± 0 (15割改善)
	建 築	前期 +10 → +16 (6割改善)
	各種設備	前期 ± 0 → +13 (13割改善)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…+14 (17割改善)

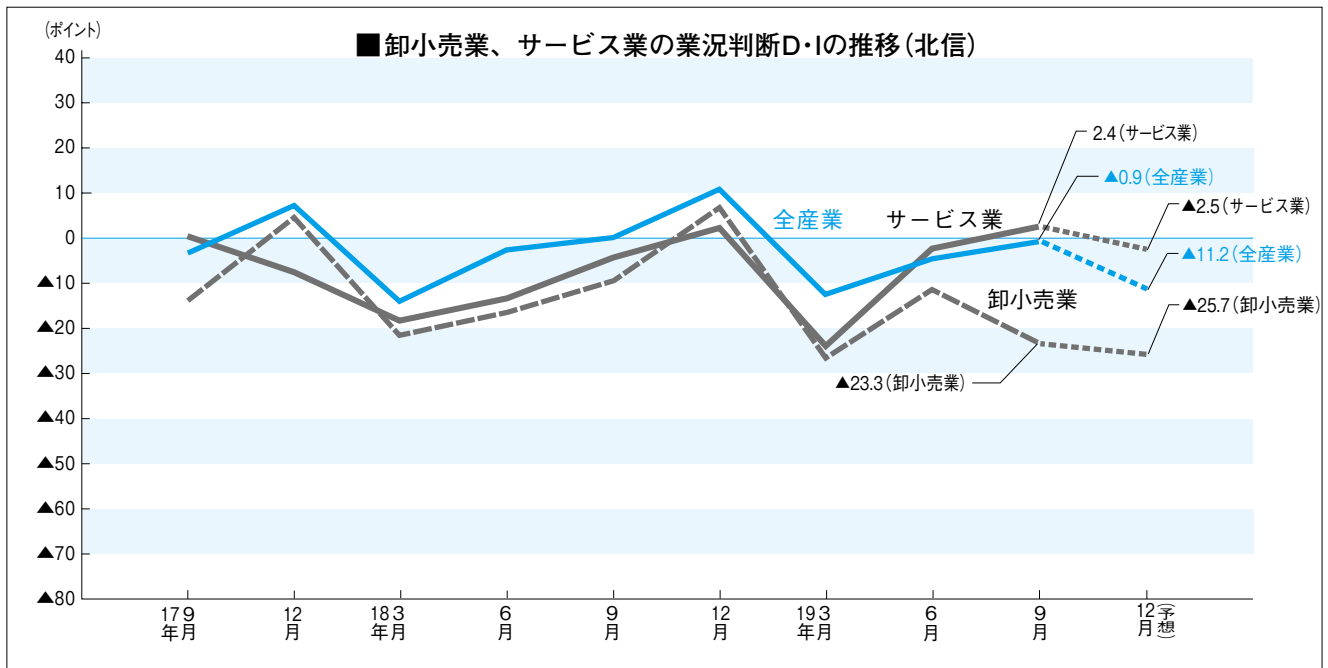
「増益」割合	前期 18% → 24% (6割増加)
「減益」割合	前期 22% → 10% (12割減少)

◆現在の採算状況…横ばい

「利益確保」	前期 43% → 51% (8割増加)
「収支トントン」	前期 55% → 42% (13割減少)
「赤字」	前期 2% → 7% (5割増加)

企業からのコメント

- ☆☆公共事業は、国土強靱化・防災・減殺対策による発注が期待できる。民間設備投資の減少を感じる。
- ★消費税増税の影響か、新築案件がない。(以上総合建設)
- ★☆☆ボルト不足の影響で、仕事量は少ない。来年夏以降は増える見通し。(鉄骨鉄筋工事)



卸小売業の景況

業況は12期悪化の▲23、来期も悪化の予想

卸小売業の7～9月期の業況判断D・Iは▲23で、前回(▲11)に比べ12期悪化しました。10～12月期の業況判断D・Iは3期悪化の▲26の予想です。

	(前期)	4～6月期	▲11
◆業況判断D・I	(今期)	7～9月期	▲23
	(来期)	10～12月期	▲26(予想)

◇業種別	卸売業	前期	▲13 → ▲45 (32期改善)
	小売業	前期	▲10 → ▲4 (6期改善)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲16 (3期改善)

「増益」割合 前期 12% → 16% (4期増加)

「減益」割合 前期 30% → 32% (2期増加)

◆現在の採算状況…横ばい

「利益確保」 前期 30% → 48% (18期増加)

「収支トントン」 前期 51% → 36% (15期減少)

「赤字」 前期 19% → 16% (3期減少)

企業からのコメント

- ★消費者がインターネットでメーカーと直接取引できるようになったり、大型ホームセンターでの購入が増えたりして、卸売業は衰退傾向になってきた。(建設資材販売)
- ☆消費税増税の駆け込み需要か、8月に開催した当社の商談会は盛況だった。(自動車・バイク販売)
- ★和洋菓子の消費でマクロな変化が起きている。コンビニスイーツの影響が大。(和洋菓子製造販売)

サービス業の景況

業況は4期改善の+2、来期は悪化の予想

サービス業全体の7～9月期の業況判断D・Iは+2で、前回(▲2)と比べ4期改善しました。業種別では、サービス・輸送・外食が改善、観光・不動産が悪化しています。

10～12月期の業況判断D・I(予想)は5期悪化の▲3です。

	(前期)	4～6月期	▲2
◆業況判断D・I	(今期)	7～9月期	+2
	(来期)	10～12月期	▲3(予想)

◇業種別業況判断D・I

サービス 前期 ▲11 → ±0 (11期改善)

輸送 前期 ▲22 → +43 (65期改善)

タクシー 前期 ▲33 → ±0 (33期改善)

運輸 前期 ▲17 → +50 (67期改善)

外食 前期 ±0 → +29 (29期改善)

観光 前期 ▲22 → ▲63 (41期悪化)

不動産 前期 +44 → +9 (35期悪化)

企業からのコメント

- ☆★キャッシュレス決済の普及がすすむ中、当館は現金スタンス(一部クレジット)を重視してきたが、今後は時代の変化に対応していく。(旅館)
- ☆★ガソリンは安定した仕入値が続いているが、中東情勢が気になる。(ガソリンスタンド)
- ★ドライバーが複数退職し、確保に苦慮している。
- ★消費税増税や米中貿易摩擦で荷動きが不安。(以上一般貨物運送)

雇用情勢 7～9月期

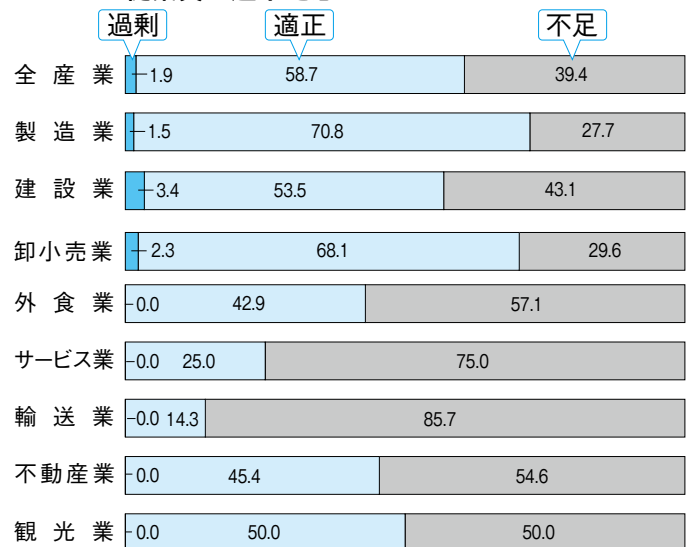
製造・建設が改善、輸送・サービス・外食・観光は悪化

従業員の過不足感（「過剰」－「不足」）は、全産業で▲38となり、前回（▲37）より1ポイント悪化しています。

雇用情勢（「過剰」－「不足」）

業種	前期（4～6月）	今期（7～9月）
全産業	▲36.7	▲37.5
製造業	▲34.4	▲26.2
建設業	▲44.1	▲39.7
卸小売業	▲25.0	▲27.3
外食業	▲14.3	▲57.1
サービス業	▲44.4	▲75.0
輸送業	▲55.5	▲85.7
不動産業	▲55.5	▲54.6
観光業	▲33.3	▲50.0

従業員の過不足感（％）



（資料：当金庫）

資金繰り 7～9月期

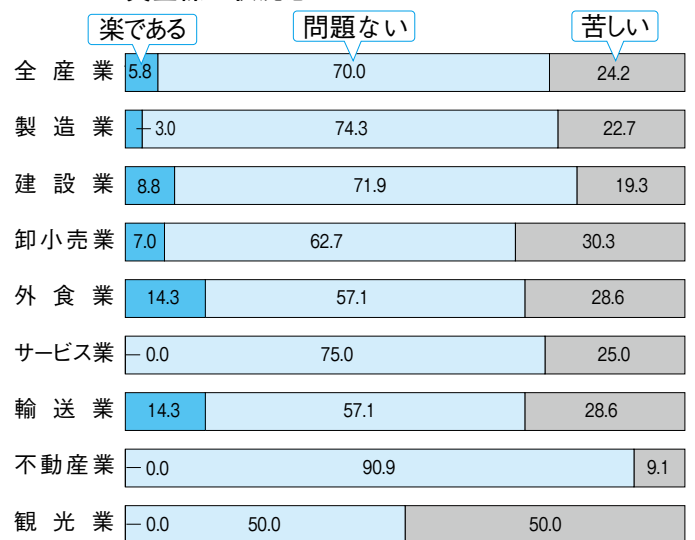
外食が悪化、ほかの業種は改善

資金繰り状況判断（「楽である」－「苦しい」）は、全産業で▲18となり、前回（▲25）より7ポイント改善しています。

資金繰り（「楽である」－「苦しい」）

業種	前期（4～6月）	今期（7～9月）	来期（10～12月）
全産業	+25.0	▲18.4	▲18.7
製造業	▲24.6	▲19.7	▲19.7
建設業	▲21.6	▲10.5	▲15.5
卸小売業	▲30.2	▲23.3	▲20.9
外食業	+12.5	▲14.3	▲28.6
サービス業	▲33.3	▲25.0	▲25.0
輸送業	▲33.3	▲14.3	±0
不動産業	▲11.1	▲9.1	±0
観光業	▲62.5	▲50.0	▲50.0

資金繰り状況感（％）



（資料：当金庫）

販売価格動向 7～9月期

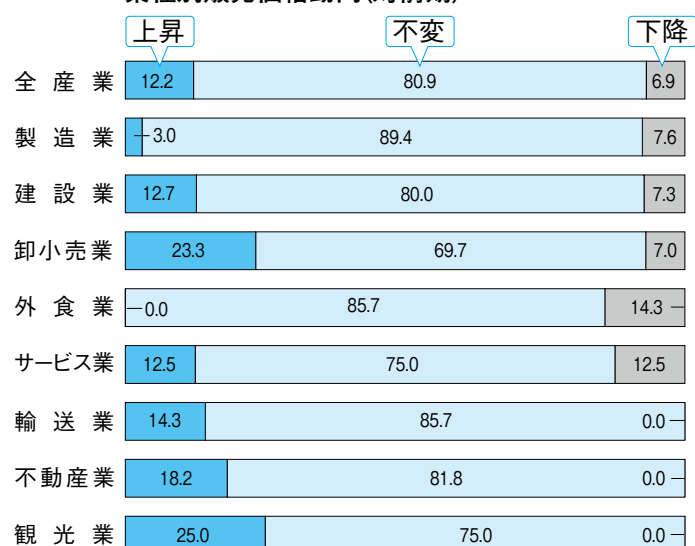
観光・卸小売・建設が上昇、外食・輸送は下降

販売価格動向（「上昇」－「下降」）は、全産業で+5となり、前回（+1）に比べ4ポイント改善しています。

販売価格動向（「上昇」－「下降」）

業種	前期（4～6月）	今期（7～9月）	来期（10～12月）
全産業	+0.5	+5.3	+6.8
製造業	▲3.2	▲4.6	▲6.1
建設業	▲5.1	+5.4	+7.2
卸小売業	▲2.3	+16.3	+25.5
外食業	+37.5	▲14.3	±0
サービス業	±0	±0	▲12.5
輸送業	+22.0	+14.3	+28.6
不動産業	+11.1	+18.2	±0
観光業	+14.3	+25.0	+28.6

業種別販売価格動向（対前期）（％）



（資料：当金庫）

● IT活用による効果 「コスト削減・業務の効率化」65%
「販売・営業力の強化」27% 「社内情報の共有化」26%
「サービス・品質の向上」13% 「新規顧客の獲得」10%

ITを導入している業務分野 「財務・会計」(51%)と「受注・販売」(38%)が高率となり、「広告・宣伝」と「人事・給与」は2割、「生産管理」と「在庫管理」は2ケタでした。

IT活用による効果 「コスト削減・業務の効率化」は3分の2の企業が、「販売・営業力の強化」と「社内情報の共有化」は2割台、「サービス・品質の向上」「新規顧客の獲得」は2ケタとなりました。

ITを導入している業務分野

「財務・会計」51%
「受注・販売」38%
「広告・宣伝」20%
「人事・給与」20%

「IT(情報技術)を導入している業務分野は何か」を聞きました。

最も高いのは5割強の「財務・会計」で、次に「受注・販売」が4割弱となりました。そのあと、「広告・宣伝」と「人事・給与」が2割、「生産管理」と「在

庫管理」が2ケタとなっています。

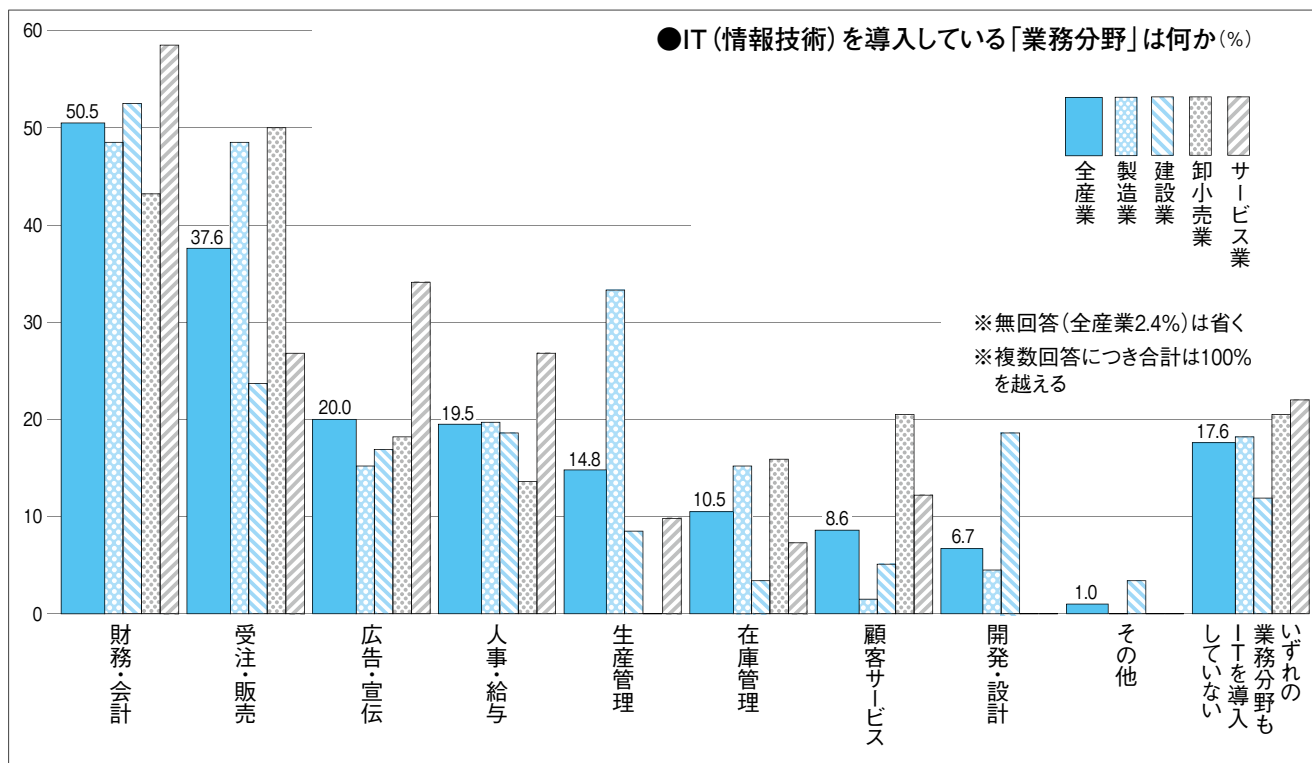
従業員規模で比べると、30人以上は「財務・会計」(63%)が16割、「受注・販売」(50%)が16割、「人事・給与」(33%)が18割、「生産管理」(27%)が16割、30人未満より高くなりました。

30人未満は「いずれの業務分野もITを導入していない」(22%)が17割、30人以上より高くなっています。

業種別

製造	「生産管理」	33%
建設	「開発・設計」	19%
卸小売	「受注・販売」	50%
	「顧客サービス」	21%
	「在庫管理」	16%
サービス	「財務・会計」	59%
	「広告・宣伝」	34%
	「人事・給与」	27%

製造業 「生産管理」(33%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「広告・宣伝」(15%)と「顧客



サービス」(2%)が他業種に比べ最も低くなっています。

建設業 「開発・設計」(19%)が他業種に比べ最も高く、「受注・販売」(24%)、「在庫管理」(3%)、「いずれの業務分野もITを導入していない」(12%)が他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「受注・販売」(50%)、「顧客サービス」(21%)、「在庫管理」(16%)が他業種に比べ最も高く、「財務・会計」(43%)、「人事・給与」(14%)、「生産管理」(0%)、「開発・設計」(0%)が他業種に比べ最も低くなりました。

サービス業 「財務・会計」(59%)、「広告・宣伝」(34%)、「人事・給与」(27%)、「いずれの業務分野もITを導入していない」(22%)が他業種に比べ最も高く、「開発・設計」(0%)が他業種に比べ最も低くなっています。

IT活用による効果

「コスト削減・業務の効率化」65%

「販売・営業力の強化」27%

「社内情報の共有化」26%

「IT活用によりどんな効果があったか」を聞きました。

最も高くなったのは、3分の2近い企業が挙げた「コスト削減・業務の効率化」(65%)で、20%台

の「販売・営業力の強化」(27%)と「社内情報の共有化」(26%)のあと、「サービス・品質の向上」(13%)「新規顧客の獲得」(10%)が2ケタとなりました。

従業員規模で比べると、30人以上は「社内情報の共有化」(35%)が12%、30人未満より高くなりました。

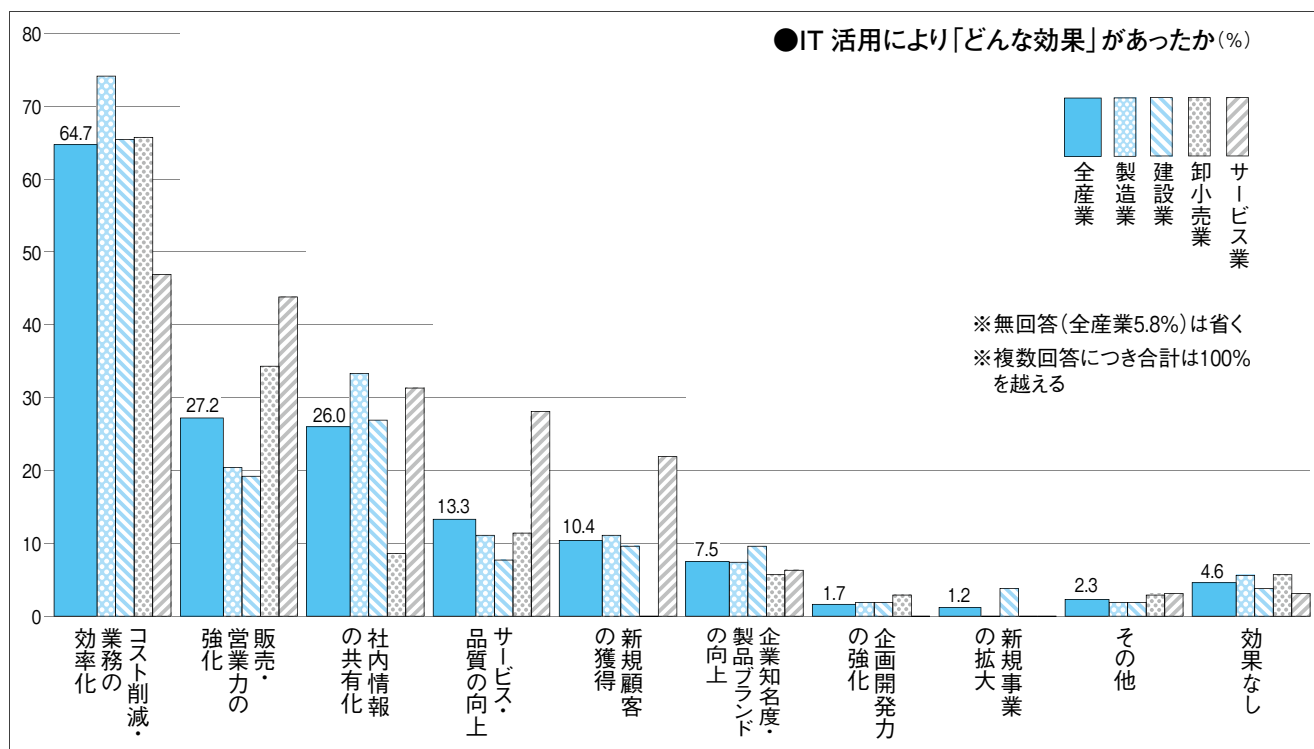
30人未満は「新規顧客の獲得」(12%)が5%、30人以上より高くなっています。

業種別

製造	「コスト削減・業務の効率化」	74%
	「社内情報の共有化」	33%
建設	「企業知名度・製品ブランドの向上」	10%
	「新規事業の拡大」	4%
卸小売	「企画開発力の強化」	3%
サービス	「販売・営業力の強化」	44%
	「サービス・品質の向上」	28%
	「新規顧客の獲得」	22%

製造業 「コスト削減・業務の効率化」(74%)、「社内情報の共有化」(33%)、「効果なし」(6%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「新規事業の拡大」(0%)が他業種に比べ最も低くなっています。

建設業 「企業知名度・製品ブランドの向上」(10%)と「新規事業の拡大」(4%)が他業種に比べ最も高く、「販売・営業力の強化」(19%)と「サービス・



品質の向上」(8%)が他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「企画開発力の強化」(3%)と「効果なし」(6%)が他業種に比べ最も高く、「社内情報の共有化」(9%)、「企業知名度・製品ブランドの向上」(6%)、「新規顧客の獲得」(0%)、「新規事業の拡大」(0%)が他業種に比べ最も低くなりました。

サービス業 「販売・営業力の強化」(44%)、「サービス・品質の向上」(28%)、「新規顧客の獲得」(22%)が他業種に比べ最も高く、「コスト削減・業務

の効率化」(47%)、「新規事業の拡大」(0%)、「企画開発力の強化」(0%)、「効果なし」(3%)が他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「キャッシュレス決済への対応」と

「活用しているキャッシュレス決済方法」を予定

[調査要領]

実施期日：2019年9月上旬～中旬

実施要領：第177回景況アンケート調査に併記

調査企業：回収210社(製造業66社、建設業59社、

卸小売業44社、サービス業41社)

うち従業員30人未満162社(77.1%)

国が進める「キャッシュレス社会の実現」に関する企業からのコメント

製造業

◇「QRコード決済」は申し込み済み。クレジットカードなど「ポイント還元事業」についても手配済み。「電子マネー」は利用の希望状況をみて考えたい。

(みそ製造)

◇キャッシュレス決済は種類が多く、それぞれの仕組みなどを理解し、管理するのも大変(特に高齢者)。それに、トラブルや犯罪も増えそう。

(プラスチック製品)

◇国策かどうかは別にして、キャッシュレス化の流れは間違いない。国に期待することは、公平なルール作り。

(金属製品)

◇何を目的とした管理か、不透明であり、キャッシュレス社会の姿が見えない。

(医療機器製造)

◇採用を検討したいが、役員の反対によって進展しない。クレジットカード、口座振替「でんさい」などは既に利用している。

(精密機械)

◇他国に比べて著しく普及が遅れている分野なので、積極的に推進すべき。

(樹脂ケース)

◇個人的には決済に利用しているが、国を挙げて進めるのは、未経験なことが多く、危険があるかもしれないし、便利かもしれない。

(一般機械)

◇実現すれば大変便利だと思うが、そのためのインフラ整備が大変だと思う。認知度向上とともに進めていけばよいと思う。

(シール・ラベル)

◇時代の流れだと思うが、金銭感覚がマヒしてしまいがちな部分を心配する。

(乾麺・生冷凍麺)

建設業

◇不公平で不平等な社会が進む。新たな詐欺を含む犯罪の発生が助長される。百害あって、一利

なし。(土木工事業)

◇世界基準に遅れているので、どんどん進めるべき。

◇高齢者の利用は難しいと思う。安全面に不安があるため、国でしっかり管理してほしい。

(以上建築業)

◇キャッシュレス社会の利便性はいいが、全部取り入れるのは抵抗がある。

(その他建設業)

卸小売業

◇キャッシュレス化による弊害を憂慮している。

(和洋菓子製造販売)

◇果してキャッシュレス社会が良いことなのか。情報が洩れる心配はぬぐえない。

(健康食品卸売)

◇手数料が高く、しかも煩雑になるだけでメリットが少ない。何のためのキャッシュレス化かわからない。

(土産品小売)

◇年配の方々に浸透していくのか、疑問が残る。

(自動車販売)

サービス業

◇高齢者にニーズがあるのか疑問。特にポイント還元が期間限定でキャッシュレスが根付くのだろうか。

◇「種類が多い」「セキュリティ面の不安」などから、諸外国ほどキャッシュレス化は進まないと思う。特に高齢者はキャッシュレス化に対応しにくいだろう。

(以上貨物自動車運送)

◇消費者に浸透するのに時間がかかりそうだし、事業者の負担が増える。

(ホテル)

◇「個人情報の保護」「セキュリティの強化」「現金へのスピード化」が課題。

◇事務コストがかかり経費を圧迫する。(以上旅館)

●キャッシュレス決済の利用

「クレジットカード」84% 「電子マネー」45% 「スマホ決済」25%

◆キャッシュレス決済の利用

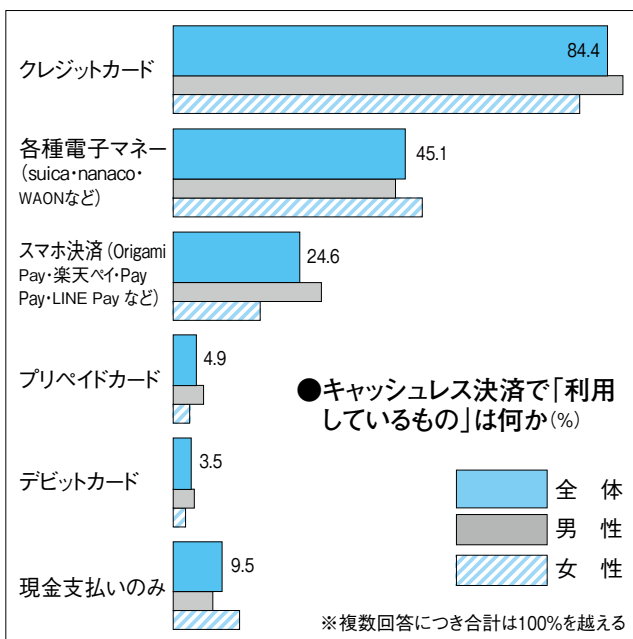
「プリペイドカード」5%

「デビットカード」4%

「キャッシュレス決済で利用しているものは何か」を聞きました。

1位は「クレジットカード」の84%、2位は「各種電子マネー」の45%、3位は「スマホ決済」の25%、「プリペイドカード」と「デビットカード」は1ケタで、「現金支払いのみ」は10%でした。

1～3位は10～20代と男性が高く、50代以上と女性が低くなっています。「現金支払いのみ」は50代以上と女性が高くなりました。



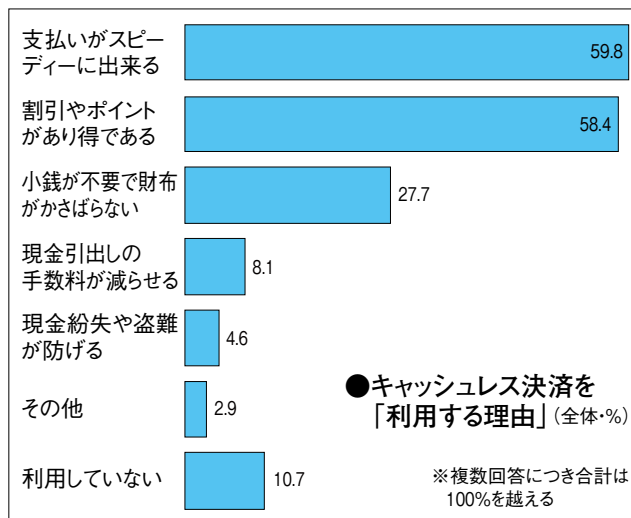
◆利用する理由

「支払いがスピーディー」60%

「割引やポイントで得」58%

「キャッシュレス決済を利用する理由」を聞きました。

トップ3は、「支払いがスピーディーにできる」(60%)、「割引やポイントがあり得である」(58%)、「小銭が不要で財布がかさばらない」(28%)です。「利用していない」は、全体で11%、世代別では10～20代3%、30～40代7%、50代以上21%、男女別では男性10%、女性13%でした。



【調査要領】

実施期日：2019年9月上旬～中旬

実施場所：長野信用金庫本支店窓口

対象者：来店客346人(男性222人・女性124人)

調査要領：アンケート用紙に記述(無記名)

国が進める「キャッシュレス社会の実現」に関する生活者からのコメント

- ◇ものを買う時に、割引やポイント還元などの金銭的なメリットだけで選択する人よりも、人間関係やアフターサービスを重視する日本人がいることを、政府は全く分かっていない。(20代女性)
- ◇スマホ決済は、種類が多すぎることで、利用できる店舗も異なることが不便に感じる。(20代男性)
- ◇田舎では、なかなかキャッシュレス化についていけず、困る人が多いと思う。セキュリティにも不安がある。(30代女性)
- ◇真に、国民の生活利便向上を目的としているように思えない。(30代男性)
- ◇災害による停電時は困るので、その対策が必要。

- デビットカードがスマホと提携するのが良いのでは。(40代女性)
- ◇ニセ札が横行している海外に比べ、日本はその心配が少なく、必要性は低いと思う。(40代男性)
- ◇キャッシュレスの比率は高まっていくと思うが、日本のような安全な国はATMも完備しており、無理に現金払いを減らす必要はない。(50代男性)
- ◇高齢者が「キャッシュレス難民」になるのは大きな問題だと思うが、どんな対策を用意しているのだろうか。(60代以上女性)
- ◇現金管理などの無駄が減り、短時間で処理できるキャッシュレス化の利便性は高い。(60代以上男性)

北信濃 江戸時代の風景

(62) 鐘鑄川沿い

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



避難した城山からの帰宅

本年度は、弘化4年(1847)に起こった善光寺地震を記録した『地震後世俗語之種』(国立国会図書館本)の挿絵を用いています。この絵を描いた権堂村の名主永井善左衛門幸一は、3月24日の夜善光寺境内で地震に遭い、一家で善光寺脇の現在の城山に避難して一夜を過ごしました。下の絵は翌朝、一家が権堂の自宅に帰宅する途中を描いています。

絵の右上には、「善左衛門家内、本城より権堂田甫に帰る路すがら、廿五日昼巳の尅頃、岩石裏通りの炎々たる焼亡を見る図畧」と書いてあります。「家内」は家族、「本城」は城山です。「尅」は「刻」と同じで、「巳の刻」は午前10時頃です。権堂の家はまだ焼失していなかったのですが、火の手が迫っていました。「権堂田甫」に仮小屋を作って、そこに仮住まいすることになっていたのです。

帰る善左衛門の一家

絵の右下に、城山から権堂に帰る善左衛門一家の一行7名が、名入りで描かれています。彼らはいずれも裸足です。

茶簞笥のようなものを担いで先導するのは、出入りの大工庄五郎(莊五郎)です。善左衛門が善光寺境内に出していた店の運営は、この庄五郎夫婦に任せてありました。善左衛門の一家は、その店に出向いている間に大地震にみまわれ、城山で一夜を明かしたのでした。権堂へ帰った後も、庄五郎は仮小屋を作る時に力を発揮しました。その働く様子が、仮小屋の図に描かれています。そこには屋外で炊事をする庄五郎の母ムメの姿もありますから、庄五郎は一家を挙げて善左衛門家のために尽力していたようです。

庄五郎の後は善左衛門の長男乾三、9歳です。

避難先の城山から権堂に帰る善左衛門の家族(国立国会図書館蔵『地震後世俗語之種』より)



「^{せがれ}倅乾三」と書いてあります。数え年ですから、現在の小学校3年生くらいでしょう。小さいながら腰に脇差を差しています。

次は「田町由蔵」が「善左衛門」を背負って続きます。城山に避難していた善左衛門一家が権堂に帰ることになったのは、権堂の家から迎えが来たからでした。迎えの人は、「まだ権堂へは火が掛かっておりません。少しでも早くお帰りください。詳しいことは道すがらお話ししましょう」(現代語訳)と言っていますから、迎えに来たのはこの田町の由蔵です。田町は現在は権堂町の



下の絵に描かれた付近

隣町ですが、当時は権堂村の一部でした。由蔵も善左衛門家の使用人のような立場だったのでしょう。

肝心の善左衛門(34歳)は、昨夜からの大災で心身ともに疲れ果てたためか、情けないことに足腰が立たず、由蔵に背負われての帰宅です。

その後には、善左衛門の「妻イト」(糸29歳)と「娘ジョン」(順16歳)が続きます。「ジョン」は「ジュン」のなまりで、江戸時代の善光寺周辺にはこのようななまりがあったようです。十返舎一九は『続膝栗毛』の善光寺の場面で、「このへんにては、十をじやうといひ(中略)、久をきやうといひ(中略)、忠をてうといふ、ことばのまちがひあり」と書いています。

最後は「下女ミノ」です。実はこの人物は、善左衛門の書いた『地震後世俗語之種』の原本には姿がありません。善左衛門の権堂の仮小屋の中には描かれているので、写本を作る段階でミノも行動を共にしていたと勝手に解釈して、一行の末尾に書き加えたのでしょう。

大震災に見舞われた家族

この絵は、「大震災に見舞われた家族」がテーマになっているようです。善左衛門一行の左前方には、家財を持ち出して屋外に避難している家族が

描かれています。このような状況でも、妻が夫の肩をもみ、それを子どもが箆笥の陰から心配そうに見つめています。背後には、荷物を担いでやって来た男がいます。

その左の家族は悲惨です。家財を持って避難はしたものの、一家の主の遺体を前にして、母子が泣いています。その上には、杖を突いて避難する老婆と、荷物を持って後に続く息子らしい人物がいます。

絵の舞台となった場所

『地震後世俗語之種』の本文によれば、善左衛門一家は城山から淀ヶ橋を通過して湯福川沿いに鐘鑄川の端に出て、鐘鑄川沿いの道を歩いて権堂に帰りました。この絵には鐘鑄川沿いの道を歩く善左衛門の一行が描かれています。左に「武井社」(武井神社)、岩石町の「虎石庵」、「稲荷」(古録稲荷)などが描かれていることがヒントになります。左下の橋は、西宮神社の南側の小路を東に下って、鐘鑄川を渡る橋に違いありません。川の手前は現在の三輪田町、対岸は岩石町です。

11月号は「せき止められた犀川」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)

●「キャッシュレス決済」の不安

「個人情報のセキュリティ」64% 「不正利用の犯罪」62% 「金銭感覚のマヒ」36%

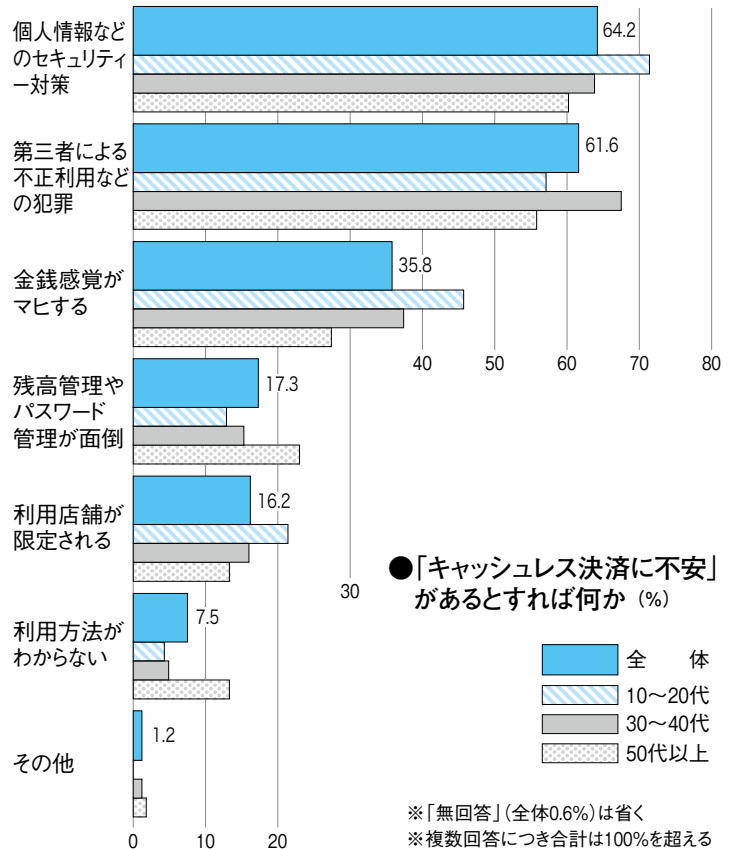
「『キャッシュレス決済』に不安があるとすれば何か」を聞きました。

トップ3は、「個人情報のセキュリティ対策」(64%)、「不正利用の犯罪」(62%)、「金銭感覚がマヒ」(36%)で、「残高管理やパスワード管理が面倒」(17%)、「利用店舗が限定される」(16%)が2ケタとなりました。

世代別で見ると、10～20代は「セキュリティ対策」「金銭感覚がマヒ」「利用店舗の限定」が他より高く、30～40代は「不正利用の犯罪」が他より高く、50代以上は「管理が面倒」「利用方法がわからない」が他より高くなりました。

男女別で見ると、男性は「不正利用の犯罪」と「利用店舗の限定」が他より高く、女性は「セキュリティ対策」と「金銭感覚のマヒ」が他より高くなっています。

〈当金庫・2019年9月調査〉



●みなさまの経営相談のご案内 [11月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
11月 6日 水	大豆島支店 (長池支店)		11月18日 月	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)
7日 木	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	21日 木	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
8日 金	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	22日 金	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
11日 月	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	26日 火	本店営業部	
13日 水	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	27日 水	本部	
14日 木	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	28日 木	本部	

●11月の「しんきん事業相談会」は11月6日(水)です



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

